



ロータリー財団の 使命と目標に向けて

ロータリー財団委員長
半田 久一
(黒磯RC)

ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することにあります。

その目標は、博愛、慈善、教育または人道的という特質を持つ明確かつ効果的なプログラムの促進を通じて、さまざまな国の国民との間に理解と友好的関係を助長することにあります。

その使命と目標達成のため、本年度も、年次寄付、恒久基金、ポリオプラス、等の地区目標の寄付額を決めました。クラブ会員のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

又クラブとして、財団奨学生及びGSE団員の推薦、地域社会のニーズに対応する財団補助金の活用、財団学友による月間等における卓話の活用を通して次代を担う青年の声を聞いて下さい。「手を貸そう」のテーマのもと会員の皆様の手を貸して下さい。



『米山奨学生に 手を貸そう』

米山記念奨学委員会委員長
米光 啓弥
(宇都宮南RC)

昨年度に引き続き委員長を仰せつかった宇都宮南RCの米光です。宜しく御願ひ致します。

昨年度の反省は、米山事業の理念や制度なかならず奨学生の採用数の決め方などについて情報を提供し、地区ロータリアンが米山について十分な理解を得て、寄付増進への機運を醸成できたかにあります。

何故奨学生は1千名でなければならないのか、奨学金の月額12~15万円は多額ではないのか、目標額は何故必要なのか等色々な疑問の声に綿密に答えてきたのかどうかにあります。

今年度は、米山奨学情報を中心に活動し、地区ロータリアンの皆様が米山事業への理解を更に深められ、押し付けにならない本当の善意に基づいて寄付が増進できるよう心掛けるつもりであります。

この1年に亘り、何かとお願いばかりすることになり大変恐縮に存じますが、ロータリーの友情でご寛如頂き、何分のご協力をお願い致します。

『米山奨学生に手を貸そう』

